

学校教育目標

- 《 わたしらしく あなたらしく みんななかよし 青葉の子 》
- 自分のよさを見つけ、それを発揮するとともに、友だちとなかよく学び合える子を育てます【知】
  - 相手の気持ちを考えながら、人をいたわり、家族を大事にできるあたたかい心をもった子を育てます【徳】
  - 心と体を鍛え、自分や他人の生命を大切にすることを育てます【体】
  - 地域の人たちや公共物を大切に、共生できる子を育てます【公】
  - 様々な社会の変化に対応できる子を育てます【開】

学校概要	創立 51 周年	学校長 藤原 明美	副校長 高城 剛	2 学期制	一般学級: 21	個別支援学級: 2
	児童生徒数: 675 人	主な関係校: 青葉台中学校 榎が丘小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	青葉台中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>&lt;自分づくりに関する力&gt;</p> <p>&lt;言語能力&gt;</p>	<p>青葉台中学校 青葉台小学校 榎が丘小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分から進んで学び、他者と話し合いながら考えを深め、夢の実現を目指す子</li> <li>○自他を認め合い、心身ともに健康で、自分らしく行動する子</li> <li>○地域・社会との関わりを大切に、世界や未来に目を向け、共生していく子</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同授業研究会等を通じた授業改善、授業力の向上</li> <li>・合同研究会等を通じた児童生徒指導上の課題解決</li> <li>・行事等を通じた児童生徒の交流</li> </ul>

中期取組目標

- 学校教育目標を実現するために、活力と魅力にあふれた信頼される学校づくりをめざします。
  - ・一人ひとりの子どもが、学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。
  - ・豊かなかかわりを大切にして、互いの思いを伝え合うことのできるたくましい人間関係力の向上を図ります。
  - ・自分の生活を振り返り、課題解決に向けて主体的に取り組み、健康の保持増進に努められる実践的な態度を育みます。
  - ・小中一貫教育の推進ブロックや家庭・地域と連携し、社会の様々な変化に対応できる子どもの育成を進めます。
  - ・教職員が相互に啓発・連携する活気あふれた学校運営組織をつくります。

重点取組分野	具体的取組
<p><b>知</b> 授業改善</p> <p>担当 研究・研修部</p>	<p>①課題の発見・解決に向けて、「主体的・対話的な深い学び」を意識した授業の工夫に取り組むことにより、思考力・判断力・表現力の育成を図る。</p> <p>②重点研究を中心に、様々な研究・研修を充実させ、教師の指導力の向上を図る。</p>
<p><b>徳</b> 道徳教育</p> <p>担当 道徳部・特活部</p>	<p>①道徳の授業を中心に、全ての教育活動を通して道徳教育の充実を図る。</p> <p>②横のつながり、ペア学年等の活動を工夫して取り入れながら、人間関係力の向上を図り、人と関わる活動を通して自分や友だちを大切にする態度を育てる。</p>
<p><b>体</b> 健康教育</p> <p>担当 体育部</p>	<p>①運動委員会と連携し、社会状況に合わせて工夫しながら、運動に親しみ体力向上を図る。</p> <p>②保健の授業や学校保健委員会主体の活動を通して、けがの防止や健康の保持増進の意識を高める。</p>
<p><b>公</b> 自分づくり教育 (キャリア教育)</p> <p>担当</p>	<p>①地域で学ぶ機会を工夫して設定し、他者との関わりの中で自分の思いを表現しながら、一人ひとりが自己有用感を高めるようにする。</p> <p>②「自分づくりパスポート」を有効に活用し、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。</p>
<p><b>いじめへの対応</b></p> <p>担当 いじめ対策防止委員会</p>	<p>①関係機関と連携し、児童支援専任を中核とした児童指導体制の確立を図る。人権研修を行い、児童に寄り添う意識を共有する。</p> <p>②いじめ防止対策委員会を定期的に開催し、いじめの積極的な認知を心がけ、早期発見・実態把握・分析等を行い、適切な対応に努める。</p>
<p><b>人材育成・組織運営(働き方)</b></p> <p>担当 育成部・教務部</p>	<p>①教職員の意識改革を進め、各々のステージアップを意図した組織的な人材育成を行う。メンターチームの活性化と授業力・教師力の向上をめざし、年次研修と連動させ実践する。</p> <p>②学校経営方針に照らして優先順位を定め、働き方改革と連動させて組織改革を行い、学校運営の機能性をさらに高める。</p>
<p><b>児童指導</b></p> <p>担当 指導部(児童指導)</p>	<p>①児童支援専任を中心として、様々な場面に柔軟に対応できる指導体制の機能拡充を図る。</p> <p>②児童を全職員で見守り、情報を共有し、問題の早期発見・対応に努め、組織的な課題解決力の向上に引き続き取り組む。</p>
<p><b>特別支援教育</b></p> <p>担当 指導部(特別支援)</p>	<p>①特別支援体制の機能拡充を進める。支援を必要とする児童について、中長期的な支援計画を立て、職員会議や特別支援教育委員会などを通して全教職員で共通理解を図る。</p> <p>②コンサルテーションや研修会を年間計画に位置付け、関係機関と連携しながら実施する。</p>
<p><b>地域連携(地域学校協働活動)</b></p> <p>担当 教務部</p>	<p>①家庭・地域・学校運営協議会と連携し、児童の健全育成、子どもを育む環境づくりに努める。</p> <p>②地域の人材や教育資源を教育活動に活用し「社会に開かれた教育課程」を進めていく。</p>
<p><b>コミュニケーション能力</b></p> <p>担当</p>	<p>①人との関わりの中で自分の学びを深め、自分らしく表現できる子の育成を図る。</p> <p>②授業や学校行事等において、児童が「思考・判断・表現」する場面を数多く設定し、教育活動全般を通して、児童が主体的に取り組む態度を養う。</p>